

## 共に生きる・活きる暮らし

### ～まちなかに賑わいを創出するコミュニティスクールと回遊空間～

日光街道の第四の宿場町、交通の要衝として栄えてきた春日部市の都心部は、現在、商業等の衰退を初め、種々の課題を抱えながら空洞化が進行しています。人々が春日部市で生活し活動していることの豊かさを実感することができると共に、誇りの持てる優れた都市景観を形成するための環境整備として、「まちの歴史や環境」に配慮し、「固有の品格」を備え、「洗練された表現と演出」が求められます。それらによって創り出された魅力は「まち」に活力を呼び戻し、新たな賑わいと共に「まち」全体が生(活)き生(活)きと活性化すると考えられます。(新たなクロスポイントの創出)

本計画では、従来の「人」・「活動」・「空間」・「時間」が分離・分化・他律化した「個別分断現象」を結び、繋ぎ、自律化した「相互浸透関係」を持つ情況づくりを行うと共に、生活支援、交流支援、文化支援、教(共)育支援、環境共生支援、業務支援等のプログラムより生み出され『コミュニティスクール』(誰でも先生〔演者〕になり誰でも生徒〔観客〕になり学習し合える)と呼ばれる生活・コミュニティ空間を街区空間の結節点と鉄道高架下に適正配置すると共に、『都心居住』、『コンバージョン』、『まちのタカラの再生』、『まちの顔づくり』を行います。更に、昔の地域社会が有していた良好な機能と関係性を回復し、固有の地域特性を生かし、人々が行う種々の活動から紡ぎ出される「質の高い空間形成」「活力ある拠点形成」「美しいまちなみ形成」こそが、物的・質的に喪失した生活空間や近隣コミュニティの貧しい現状を乗り越え、まちづくり・まち育ての目指す姿『劇場都市かすかべー共に生きる・活きる暮らし』と考えます。



まちを対象として、その生活空間・生活環境をつくり直す『まちづくり』

地域で育てられてきた歴史や文化、風土等を大切に育て、人も環境も時間の流れの中でお互いに育みあう関係性を持った『まち育て』

地域資源(人的資源、エネルギー資源、空間資源、材料資源)を活かし、市民(地域居住者)が主役となって、その地域固有のヒト・モノ・コトを育み、次世代へと自分達のまちを受け継いでいくサステナブルな生活環境デザイン(コミュニティデザイン+生活空間デザイン)

まちとは、小さな子どもが歩いていくと、将来一生をかけてやろうとするものを教えてくれる何かに出会うところ

大人も子どもも地域でふれあい、共に学ぶ

教育 → 『共育』のまちへ

<p>□「知育」の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールで行われる種々の教室(伝統工芸品づくり教室、野菜・花づくり教室、料理教室、俳句教室、書道教室等)</li> </ul>	<p>□「体育」の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットサルコート</li> <li>・フィットネスクラブ</li> <li>・水辺空間の活用(ボート、釣り)</li> <li>・歩いて回遊できるまちの空間構成</li> </ul>
<p>□「徳育」の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心を育む地域ぐるみの子育て(ソーシャルアングル)</li> <li>・「交流」を通じたコミュニケーション能力の育成</li> <li>・人付き合いの礼儀・作法の学習</li> <li>・自然環境・地球環境に対するやさしさの育成</li> </ul>	

学校・行政・地域の連携による子(まちの担い手)育て

まちの担い手の増加 ← 子ども → 地域への愛着

学校 ↔ 地域の大人 ↔ 行政

20世紀の「モノ」の「開発」から 21世紀の「ヒト」の「育成」へ

春日部に創出される新しい文化・生活風景

|| 新しい魅力(観光資源)の創出

